

ゴールデンウィークもコロナに負けず生徒は頑張っている (030506)

緊急事態宣言下で迎えた今年のゴールデンウィーク。生徒たちには不要不急の外出自粛が呼びかけられ、再び自宅学習の時間が増えた。そんな中だが、コロナ対策をしながら、関東大会予選等の部活動の公式戦は行われている。このゴールデンウィーク中にもこれらの大会から嬉しい知らせが届いた。

4月30日 (金)

この日は、3年生の末永裕亮くんが、前日開催された東京都高等学校春季相撲大会(65キロ以下)において優勝し、見事に関東大会出場が決まったとの連絡が入った。末永くんは小学校2年生から相撲を始めたが、中学・高校とバレーボール部に入部し、相撲からは遠ざかっていたようだ。しかし、コロナの影響で部活動が十分にできない日々が続き運動不足になったため、小学校の時通っていた相撲道場で練習をさせてもらっていたとのこと。その時、道場の恩師より春季相撲大会への誘いを受け、出場を決心したようだ。おめでとう。

5月2日 (日)

この日は、東京都高等学校少林寺拳法大会のため綾瀬の東京武道館に出かけた。本校からは16名の生徒が出場し、組演武、単独演武、団体演武にエントリーした。すべての生徒の演武を壇上から見る事ができた。素人の私には動きの形(点数)はわからないが、演武初めから終わりの礼までの所作は、他の学校の生徒と比べても間違いなく清瀬高校の生徒たちが一番素晴らしかった。この感想は生徒たちにも伝えて褒めた点である。この日の結果は男子単独演武で3年生の門倉羽音くんが優勝。女子組演武で3年生の松本詩葉さんと太田智美さんが優勝した。この優勝した3名は関東大会とインターハイの出場を決めた。この他にもすべての演目で入賞し、たくさんの生徒が関東大会出場を決めた。チーム清瀬、全員がよく頑張りました。

5月3日 (月)

午後2時30分頃、安田先生からの電話が入る。「関東大会が決まりました」との嬉しい知らせである。女子ハンドボール部が東京都高等学校ハンドボール春季大会において、都立府中高校との接戦を制し、ベスト4を守り抜き初の関東大会出場を決めた。昨年度は先輩たちがベスト4となり、関東大会出場が目の前までできたが、コロナの影響で試合が中止となり涙をのんだ。今年の3年生たちも自分たちで掴んだベスト4を守り抜き、先輩たちの悔しさを晴らす快挙を演じてくれた。きっと卒業した先輩たちが一番喜んでいるだろう。おめでとう。